

令和3年度 学校自己評価アンケートの結果について

信濃町立信濃小中学校

日頃より学校の教育活動にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。また、今年度の学校自己評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果と今後の取り組みについて報告いたします。

1 学校自己評価 児童生徒アンケートから

- 高等部、初等部ともに、どの項目においても肯定的な回答が約8割以上を占めています。よい点をさらに継続して、一人一人の児童の状況に対応した指導を行っていきます。
- 初等部では、「授業では、質問や発表をしやすい雰囲気がある」という質問項目で、「とてもそう思う」回答が昨年より10%程度増加し、さらに「授業では、『知りたい』『やってみたい』などを感じる」という質問項目で、「とてもそう思う」回答が20%近く増えています。1人1台端末の利用により、お互いの考えを共有する機会が増え、自分の意見を発表しやすくなることにより、「知りたい」「やってみたい」という主体的に学ぶ姿勢につながっていると考えられます。
- 高等部では、昨年度と比較して、「家庭学習をしっかりとできるようになっている」という質問項目で、肯定的な回答は増えていますが、「とてもそう思う」を回答する割合が減少しています。自立の力を育む時間を利用したり、1人1台端末等のICTを活用したりして、児童生徒が主体的に学習を進められるよう支援をしていきたいと考えています。
- 今回新たに加えた『ふるさと学習』により信濃町のことを詳しく知ることができたり、親しみをもつことができる」という質問項目では、初等部、高等部ともに95%近くが肯定的な回答をしています。7年生が水の学習を通してキャラクター「ほちゃ」をつくり、水の大切さをアピールしたり、9年生が自分たちの手で県内での修学旅行を企画実行し、旅行後には改めて信濃町を見つめなおして公共の場所の清掃活動を行ったりする活動を行いました。
- 暴言・体罰に関する項目では、全校で数名の記述がありました。内容をもとに、すぐに該当する職員と面談しました。いずれも、教科指導や生活指導の際に、学級担任や教科担任から、厳しい言葉や態度があったというものでした。今後も、全職員で適切な言葉や態度による指導をしていくとともに、本人の状況や気持ちを十分に聞き、気持ちに寄り添いながら指導してまいります。
- いじめに関する項目では、全校で数名の記述があり、該当学級で確認をしました。学級内での特定の児童生徒の言動によるトラブルの事案、個人への悪口や仲間外しの事案で、いずれも該当児童生徒の聞き取りを含めて学級や個人に指導を行っています。今後も学級や学年で経過を注意深く見守るとともに、「いじめはいかなる理由でも許されない」という指導を継続していきます。

2 学校自己評価 保護者アンケートから

- ほとんどの項目において、昨年度と同様に肯定的な回答の割合が多数をしめています。初等部の保護者の方を対象にした「教科担任制の拡大により、学習内容の理解が図られている」では、肯定的な回答が9割近くなり、より専門的で系統的な学習な学習ができたと考えています。また、「学校の様子が分かりやすいと感じる」という項目でも、肯定的な回答が9割近くとなっていますが、コロナの影響により授業参観等の機会が減り残念に感じている様子が記述から伺えます。令和4年度もコロナにより予定を変更せざるを得ないことがあると思いますが、様々な機を捉えて、学校の様子を発信したいと考えています。

3 学校自己評価 職員アンケートから

- ・「子ども一人一人の日常の様子をていねいに見守り、心身の支援をしている」の項目について、「とてもそう思う」という回答が、昨年度より 20%近く増えています。今後も児童生徒への支援の充実に向けて、職員一人一人がきめ細やかな対応をしていきます。
- ・「地域に密着した行事を大切にしている」「朝読書活動による学ぶ意欲の向上」の項目で、肯定的な回答が8割を下回っています。今後、これらの項目について大切に取り組んでまいります。

その他、保護者の皆様からいただいた貴重なご意見については、学校運営協議会や職員会議で確認し、職員で周知させていただきました。ご意見をもとに、今後も学校運営の改善に努めてまいります。ご多用のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。